

動画編集フリーソフト Aviutl を使用した MV の制作

1. 目的・動機

普段インターネットで目にする映像がどのように作られているのかということ、映像自体に興味があり、自らの好きな曲の魅力が伝わるような MV 制作を行いたいと思いました。

2. 使用機器、ソフトウェア等

・Aviutl ・コンピュータ

3. 制作内容

1 学期：制作に必要な Aviutl プラグインの導入、およびそれらを理解するための短いアイキャッチの制作をしました。

2 学期：使用する楽曲を決定し、粗削りではあるが最後まで制作を終わらせました。

3 学期：2 学期で制作したベータ版の細部の手直しをしました。

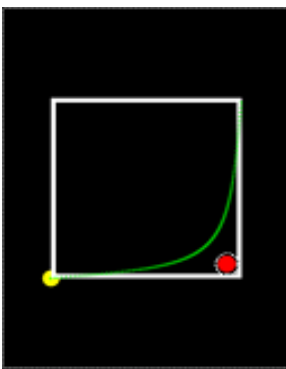
4. 作業内容

・使用楽曲[ヒステリックナイトガール]

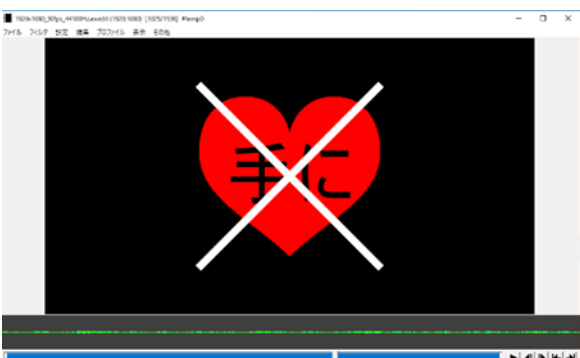
(映像テーマ)

モノクロ調で見やすくしながら、歌詞を主体に置いたメリハリのある映像にしました。

5. Aviutl の制作画面



映像制作においてよく出てくる概念が「イージング」です。動作の速度に緩急をつける役割があり、左の画像のようなグラフで調節します。



Aviutl のメインウィンドウです。

この画面で随時制作した映像のプレビューを確認できる他、追加した図形等を直接操作できます。



タイムラインです。図形等を表示するタイミングの微調節に使用します。



タイムライン上の各ファイルを押すと出てくる詳細画面です。ファイルごとに設定できる項目が違います。プラグインや効果の設定もここでを行います。

6. 感想

初めて本格的に一本のMV作品を制作しました。Avicut1自体は自宅でも使用していたので大まかな操作方法は分かっていたのですが、自分が実現したい表現を行うためにはどのようなスクリプト、プラグインが必要かをインターネットで検索する必要があり、調べる力の問われる制作だったと思いました。

私たちが普段スマホのアプリ等で数秒で消費するアイキャッチ等にも、様々な工夫がなされていることを実感しました。

この課題研究で得た知識、技術を利用して、個人での動画制作もやっていきたいと思います。

7. 今後の課題

- ・自宅で利用していることからくる根拠のない自信により、初めから動画の制作を始めてしまいました。Avicut1は人気の高いフリーソフトであり、開発から約25年経過していることから、インターネット、書籍に知識がまとまっているため、そちらを初めに学べばよかったと思います。映像制作に限らず、何かを始める時にはまず初めに体系的な知識を入れたほうがスムーズに進められると感じました。
- ・途中で使用する楽曲を変更したため、無駄な時間がかかってしまいました。絵コンテ（絵は描かなくてもいいです）に最初にまとめておくことで、ベータ版の制作も早くなると思います。